

ニセコ・蘭越地区 地熱資源利活用 協議会 だより

2022.1.1号

ニセコ・蘭越地区では、再生可能エネルギーである地熱発電の実現を目指す調査が進められています。役場をはじめ地元温泉事業者などの関係者で組織する「ニセコ・蘭越地区地熱資源利活用協議会」では、地熱発電の有効性や安全性について勉強し、理解を深める活動に取り組んでいます。

このおたよりでは、協議会の今年度の取組状況を紹介します。

地熱利活用のシンポジウムを開催しました

11月25日、地熱利活用のシンポジウムを蘭越町らぶちゃんホールで開催しました。大雪にもかかわらず多くの町民の方にご参加を頂き、地熱の有用性や開発への期待など活発な議論が行われました。

基調講演では、三井石油開発株式会社の嶋田シニアスペシャリストから蘭越町内で行っている今年度の地熱資源調査の結果についてご説明いただきました。

講演の中では、今年度2本掘削した大口径地熱調査井のうち2本目が深度約2500mに達した時に、掘削の先端に送り込んで循環させている泥水が全く戻ってなくなる現象「全量逸泥」に遭遇したとの報告がありました。



三井石油開発株式会社の講演

これは地下に送り込んだ泥水が吸い込まれる大きな亀裂があることを意味しています。地熱発電を行うためには、地下の深いところに高温の熱水が溜まっている必要があり、これまでの調査で300℃以上の高温は確認されていましたが、熱水が溜まるための器となる亀裂が見つかっていませんでした。今回、2016年の調査開始から6年、5本目の調査井戸で地熱資源開発に向けた糸口をつかんだと言えます。

来年度は環境調査や温泉モニタリングを行いながら、事業化を

を進めるかどうか判断するため、追加の探査作業を進めるとのことでした。

また、その後に行われたパネルディスカッションでは、この朗報を受けて今後の地熱資源の開発に期待を寄せる意見とともに、大規模な開発行為が自然環境や温泉資源に及ぼす影響について配慮を求める声もありました。



ラジオニセコで地熱情報を発信しています

協議会では町民の皆様へ地熱への理解を深めてもらうため、昨年度からFMラジオニセコの番組「エネラジ」を提供し、今年度はこれまで4回の放送を終えています。

ニセコ町、蘭越町の職員の方から協議会の事業内容、地熱のしくみ、両町の再生可能エネルギーの取組などを紹介した9月の第1回の放送に続いて、10月の第2回では北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所の田村慎さんから「地熱と温泉」と題して、ニセコの火山、温泉、地熱を持続可能な地域資源として活用する考え方をうかがいました。

11月の第3回は、ニセコでイトウの保護活動に取り組んでいるオビラメの会事務局長の川村洋司さんに、地熱開発が自然環境に及ぼす影響と必要な配慮についてお話しいただき、また、12月の第4回の放送では「地熱資源と地域振興」をテーマに道内で唯一地熱発電所が立地する森町の岡嶋町長と発電所の熱水を実際にトマトのハウス栽培などに利用している農業者の方に電話インタビューし、地熱発電所の熱水がもたらすコストメリットや地域づくりに生かしている事例についてお話をうかがいました。

「エネラジ」は来年2月まで毎月1回放送します。

道内外の先進事例調査は中止しました

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、森町や秋田県、大分県などで今年度に予定していた先進地調査は残念ながら中止いたしました。

地熱発電の参考情報リンク (JOGMEC提供)

地熱発電の仕組み
(Youtube動画)



地熱資源開発の手順
(Youtube動画)



地熱モデル地区PROJECT
(JOGMECのwebsite)

